

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	1	選択式	3分	易・ 普通 ・難

問題 1

地いきの人や、学校みんなが自分たちで作ったものや育てたものを売るのが「ふれあいまつり」です。去年のふれあいまつりの写真やしりょうから気づいたことを学年の友だちとつたえ合っています。下のふき出しの(1)～(2)に当てはまる言葉を、ア～ウからそれぞれえらびましょう。

【去年の写真】

小学生だけでなく、地いきの人もお店を出しています。

学校の体育館が、会場でした。

お客さんの数は、小学生以外だと(1)が、一番多いですね。

お客さんの数は、大人の中だと(2)が、一番多いですね。

【去年のしりょう】

お客さんの数	600人
小学校に入学する前の子ども	184人
小学生	212人
中学生、高校生	56人
大人	148人

(そのうち、18歳～40歳・・・41人
41歳～60歳・・・47人
61歳以上・・・60人)

●3～6年生が店を出した。地いきの人もお店を出している。

●地いきにすんでいる人も多く来る。

＜かいぎらん＞

(1)

ア 小学校に入学する前の子ども

イ 中学生、高校生

ウ 大人

(2)

ア 18歳～40歳

イ 41歳～60歳

ウ 61歳以上

＜出題のねらい＞

資料をもとにして、昨年度のふれあいまつりに参加した人の年齢層を読み取ることができているかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「見いだす」…課題を明確にする

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** **問題発見・解決能力**

＜授業改善の視点＞

目的に応じた資料の読み取りを繰り返し行うことで、データを基に決定するための基礎が養われます。目的に応じてデータを整理し、判断する機会を学習の中で設定するとよいでしょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ (1)でアを選択し、(2)でウを選択している	(1)ア (2)ウ
2	(1)でアを選択しているが、(2)でウ以外を選択している	(1)ア (2)イ
3	(1)でア以外を選択しているが、(2)でウを選択している	(1)イ (2)ウ
9	上記以外の解答	上記以外
0	無解答	—

個票への記述
目てきに合わせて、しりょうを正しく読み取ることができています。これからも、しりょうからわかったことを使って、クラスやグループで行う活動をどのようにすすめていくかを考えていきましょう。
目てきに合わせて、しりょうを読み取ろうとしています。しりょうからわかったことを友だちと話し合うことで、より正しくしりょうを読み取ることができます。これからも友だちときょう力して学習をすすめていきましょう。
目てきに合わせて、しりょうを読み取ろうとしています。しりょうからわかったことを友だちと話し合うことで、より正しくしりょうを読み取ることができます。これからも友だちときょう力して学習をすすめていきましょう。
目てきに合ったしりょうを読み取ることで、これからクラスやグループで行う活動をどのようにしていくかを考えることができます。しりょうからわかったことを友だちとつたえ合うようにしましょう。
ひとつようなしりょうをえらんで、しりょうからわかったことをみんなで考えることで、これからの活動の目的が、よりはっきりとします。これからの学習でも、しりょうをよく見て、わかったことを友だちとつたえ合うとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	3	選択式	6分	易・普通・ 難

問題 3

しょうごさんは、サツマイモの重さの合計が800gに一番近くなるようにふくろづめをしています。245gのサツマイモと307gのサツマイモを入れます。あと1つほどのサツマイモを入れれば、800gに一番近くなるでしょうか。ア～ウのうちから当てはまるものをえらびましょう。

※ g (グラム)は重さのたんいです。

＜かい答らん＞

○ア 252g

○イ 224g

○ウ 233g

＜出題のねらい＞

3位数同士のたし算や引き算を使い、重さの合計と定められている重さとの差を求める。それをもとにして、一定の重さに最も近い重さがどれかを、判断することができるかを見る。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「自分で取り組む」… 情報を収集し調べたことをもとに、自分の考えを形成する。

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

日常生活を数理的にとらえ、数学的に処理することができる場面として、身に付けた資質・能力をどのように活用したらよいか、比較したり分析したりして、主体的に考えられるよう、展開を工夫するように心がけましょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ ア を選択している。	ア
2	イ を選択している。	イ
3	ウ を選択している。	ウ
0	無解答	—

個票への記述
アからウまでのサツマイモをふくろに入れた場合の、それぞれの重さの合計を正かくに計算することができました。それぞれの重さと800gを比べて、一番近い重さをえらぶことができています。
3つのサツマイモをふくろに入れる場合の重さの合計や、800gと比べた重さのちがいなどをもとにして、問題にあった重さを考えるようにしましょう。計算するときには、くりあがりやくりさがりに注意して計算するようにしましょう。
3つのサツマイモをふくろに入れる場合の重さの合計や、800gと比べた重さのちがいなどをもとにして、問題にあった重さを考えるようにしましょう。計算するときには、くりあがりやくりさがりに注意して計算するようにしましょう。
3つのサツマイモをふくろに入れる場合の重さの合計や、800gと比べた重さのちがいなどをもとにして、問題にあった重さを考えるようにしましょう。計算するときには、くりあがりやくりさがりに注意して計算するようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	4	選択式	2分	易 普通 難

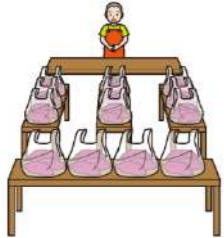
問題 4

りくさんは、スーパーとコンビニエンスストアのしりょうと考え方をもとに、【ならべ方①、②】の2つの案を出しました。


【ならべ方①】にかんけいするものを、しりょう①、②から1つ、考え方①、②から1つそれぞれえらびましょう。

また、【ならべ方②】にかんけいするものを、しりょう①、②から1つ、考え方①、②から1つそれぞれえらびましょう。

【ならべ方①】



【ならべ方②】



【ならべ方①】にかんけいするもの

<しりょう>


<考え方>

【ならべ方②】にかんけいするもの


<しりょう>

<考え方>

しりょう① | スーパーの商品のならべ方



しりょう② | コンビニエンスストアの中の様子



考え方①

考え方②

<出題のねらい>

商品の並べ方の案について、根拠となる資料や考え方を適切に関連づけたり、資料や考えの共通点や差異点を見いだせたりしているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」… 情報を収集し調べたことをもとに、自分の考えを形成する。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

自分の考えや意見の根拠をもたせることが大切です。また、相手意識をもったり、目的を明確にしたりすることで、自分の考えや意見が洗練されていきます。学級やグループでの話し合いがうまくいかない時には、相手意識や目的、根拠に立ち戻るように指導するとよいでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	条件①、②を満たしているもの。 正答の条件①：ならべ方①について、しりょう②、考え方①を選んでいる。 正答の条件②：ならべ方②について、しりょう①、考え方②を選んでいる。	ならべ方①：しりょう②、考え方① ならべ方②：しりょう①、考え方②
2	正答の条件①を満たしているが、正答の条件②は満たしていない。	ならべ方①：しりょう②、考え方① ならべ方②：しりょう②、考え方①
3	正答の条件①を満たしていないが、正答の条件②は満たしている。	ならべ方①：しりょう①、考え方② ならべ方②：しりょう①、考え方②
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
調べたじょうほうをもとにして、自分の考えの根拠をしめすことができます。これからも、「なぜ自分がそう考えたのか」をしりょうをもとにせつ明できるようにしましょう。
考えの理由となるのにふさわしいしりょうをえらべるように、ふだんのじゅ業でも自分の考えをもち、自分が「なぜそう考えたのか」を考えるようにしていきましょう。
考えの理由となるのにふさわしいしりょうをえらべるように、ふだんのじゅ業でも自分の考えをもち、自分が「なぜそう考えたのか」を考えるようにしていきましょう。
考えの理由となるのにふさわしいしりょうをえらべるように、ふだんの授業でも自分の考えをもち、自分が「なぜそう考えたのか」を考えるようにしていきましょう。
しりょうの一つ一つにどのようなことがかかっているのかを考えたり、かかっていることをくらべたりすることをふだんのじゅ業の中で取り組んでみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	5	短答式	2分	易 普通 難

もんたい 問題 5

はるかさんたちのグループは、お店の当番について考えています。□(1)、□(2)に当てはまる数字を、下の「**かい答らん**」に入力しましょう。

ふれあいまつりは、午後1時50分から午後3時20分までです。

3つのグループで同じ時間ずつ、お店の当番をしましょう。

それなら、3つのグループはそれぞれ、30分ずつですね。

そうですね。それではさいしよのグループは、午後1時50分から、午後□(1)時□(2)分までおねがいしましょう。

「**かい答らん**」
 (1)
 (2)

<出題のねらい>

日常生活における時間の経過をとらえて、問われている時刻について正しく答えることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組み」… 情報を収集し調べる

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

日常生活の中で、時間の経過を捉えて時刻や時間を求めることができるようになることは大切なことです。特に、時計の長針が1周を超える場合や正時(毎時ちょうどの時刻)をまたぐ場合の時刻や時間を求める際には、模型の時計の針の動きを観察したり、数直線上の目盛りやその間について観察したりすることを通して考えさせることが大切です。学校生活の中で、時刻や時間を求める場面を意識的につくっていきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ (1)に2、(2)に20を入力している。	(1) 2 (2) 20
2	(1)に1、(2)に20を入力している。	(1) 1 (2) 20
3	(1)に2、(2)に10を入力している。	(1) 2 (2) 10
4	(1)に1、(2)に80を入力している。	(1) 1 (2) 80
9	(1)に上記以外、(2)に上記以外を入力している。	(1) 上記以外 (2) 上記以外
0	無解答	—

個票への記述
時間の進み方を理かいて、正しく時こくをもとめることができている。これからもふだんの生活で時間や時こくをいしきして生活をしていきましょう。
時間の進み方を考えて、時こくをもとめようとすることができました。時計をイメージして長いほうが「12」になると、1時間進むことをおぼえて問題に取り組むとよいでしょう。
時間の進み方を考えて、時こくをもとめようとすることができました。時計の長いほうが「12」をすぎるときの時こくや時間をもとめる練習をしていくとよいでしょう。
時間の進み方を考えて、時こくをもとめようとすることができました。時計の長いほうが「12」をすぎるときの時こくや時間をもとめる練習をしていきましょう。
ふだんの生活の中で、時こくや時間を求めるときには、時計をイメージしたり、数直線を使ったりして考えるとよいです。特に時計をイメージしたとき、長いほうが「12」をすぎると時間が進むということをおぼえておきましょう。また、「1時間は60分」であることもおぼえておきましょう。
時こくや時間をもとめるときには、時計をイメージしたり、数直線を使ったりして考えるとよいです。生活の中で時こくや時間をもとめる場面は多いので、正しくもとめることができるように練習をしていきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	6	記述式	4分	易・ 普通 ・難

問題 6

次の会話から、のぼりばたの [] には、どのような言葉を入れたらよいと思いますか。下の会話の内ようをもとに、6～11文字の言葉を考え、右の「かい答らん」に入力しましょう。

このサツマイモのよさやとくちょうは何か。

とくちょうか。このサツマイモのしゅるいは、何だったかな。

わたしたちが育てたのは、「べにあずま」だったよ。

よさは何だろうね。

味をつたえたらどうかな。

作ったサツマイモを家で食べてみたら、あまかったよ。

わたしも食べてみたよ。おいしかったね。

畑の先生も、できがよいとほめてくださったよね。

おまけがつくのもよさかな。

サツマイモそのもののよさがつたわるといいね。

それでは、のぼりばたに入れる内ようは、サツマイモを食べた2人の感想を使いましょう。

短い言葉にまとめてつたえよう。

<かい答らん>
のぼりばたに入れる言葉

0/11文字入力されています

<出題のねらい>

のぼり旗に付け加える言葉を話し合う中で、2人の児童が試食した感想を6文字から11文字の範囲で短い言葉にまとめるとともに、言葉を適切に入力できるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」… 友達と互いに学び合う

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童同士の話し合いにおいて、互いの考えを認め合い、みんなが納得する結論を出せるように、また、話し合いの要点を意識できるように支援することを心がけましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	話し合いの内容に基づき育てたサツマイモのよさを2つ見つけ、その言葉を用いて適切に表現することができている。	あまくておいしい あまい、おいしい あまくてとてもおいしい
2	話し合いの内容に基づき育てたサツマイモのよさを1つ見つけ、その言葉を用いて適切に表現することができている。	あまくてほくほく おいしいべにあずま
3	話し合いの内容に基づき育てたサツマイモのよさを見つけているが、問題に適した文字数で表現することができていない。	あまい おいしい
4	会話文をもとに、条件を満たす言葉を考えることはできているが、入力に誤りがある。	あまきておいしい あいしい
5	会話文をもとにしているが、参照している箇所が異なる。	できがよい べにあずま、おまけつき
9	上記以外の解答 回答した内容が、問題とは無関係の言葉になっている	ほくほくしっとり
0	無解答	—

個票への記述
話し合いの内ようから、育てたサツマイモのよさを2つ見つけることができました。キーボードを使って、正しく入力することもできています。
キーボードを使って、入力することができました。話し合いの中では、育てたサツマイモのよさが2つあげられています。問題文でしめされている文字数に合わせて、言葉を考えるようにしましょう。
話し合いから、サツマイモのよさを考えることができました。問題をよく読み、指定された文字数で答えるようにしましょう。
話し合いの内ようから、育てたサツマイモのよさを見つけることができます。キーボードを使って入力した後に、正しく表現できているかたしかめるようにしましょう。
キーボードを使って、入力することができました。話し合いの中の「味をつたえたらどうかな。」という意見があります。「食べてみた。」と言っている人が、サツマイモの味をどのようにつたえているかをたしかめるようにしましょう。
話し合いの中では、「味をつたえたらどうかな。」という意見があります。「食べてみた。」と言っている人が、サツマイモの味をどのようにつたえているかたしかめてみましょう。キーボードを使った入力にもなれるようにしてみましょう。
話し合いの中では、「味をつたえたらどうかな。」という意見があります。「食べてみた。」と言っている人が、サツマイモの味をどのようにつたえているかたしかめてみましょう。キーボードを使った入力にもなれるようにしてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	7	選択式	4分	易 普通 難

まいさんたちは、ほかのグループにももらった意見をもとに「作り直しのポイント」を決め、動画②に作り直しました。
 (※動画は何度でも再生できます。音声はありません。)



問題 7
 このほかのグループからの意見をもとに決まった「作り直しのポイント」を、「動画のねらい」「方ほう」からそれぞれ1つずつえらびましょう。

<かい答らん> 作り直しのポイント

動画のねらい 方ほう

<出題のねらい>

作り直した動画を見て、どのような話し合いがなされた結果そうなったかを読み取ることができるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」… 自分の考えを伝える・友達と互いに学び合う。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

動画の視聴や作成は、資料として効果的ですし、児童が意欲的に取り組む学習活動となります。そのメリットとデメリットを考慮し、組み入れていくとよいでしょう。また、学習の過程で、作ったものを見直したり友達と見合っって意見をもらったりする活動は対話的な深い学びを引き出すチャンスとなります。話し合いでは、目的やねらい、相手を意識させ、伝えたいことは何かなど視点をしっかりもたせると、多様な意見からよりよい解決策がみえてくるでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 作り直した動画(動画②)を見て、そのねらい(イ)と、ねらいに合った方法(カ)を選択できている。	ねらい:イ 方法:カ
2	作り直すポイントとなるねらい(イ)は理解しているが、そのねらいに合った方法が選択できていない。	ねらい:イ 方法:カ以外
3	作り直した動画(動画②)を見て、どこが改善されているかが読み取れている(カ)が、この動画で伝えたいこと(作成のねらい)が理解できていない。	ねらい:イ以外 方法:カ
4	作り直すねらいとそのための方法のつながりは考えられているが、友達の意見から「作り方がわかりやすく」することが理解できていない。	ねらい:ア 方法:オ ねらい:ウ 方法:キ ねらい:エ 方法:ク
9	上記以外の解答	ねらい:ア,ウ,エ 方法:オ,キ,ク
0	無解答	—

個票への記述
友だちの考えを聞いて、新たな考えに気づいたり、より深く理かいたりすることができています。これからはどうすればよりよくなるか、友だちとともに考え、学んでいきましょう。
作り直した動画を見て、動画を作るねらいを理かいたし、友だちの意見をもとにどうすればよりよいものになるか、考えようとする事ができています。しりょうをよく見て、活動に生かせるヒントやひつようなことをさがせるとよいでしょう。
作り直した動画を見て、どこがよくなっているのかを読み取ることができています。活動の中でどうすればよいかまよったら、ねらい(何のために作っているのか)にもどって話し合ったり考えたりしてみましょう。
作り直すねらいとそれをたっせいするための方法のつながりは、しっかりと考えることができています。ほかのグループの友だちからの意見をもとに、作り直すことになったねらいを大切に考えてみましょう。
ほかのグループからの意見は、自分たちでは気がつかなかった新たな考えに気づくヒントとなります。あたえられたしりょうや動画から、活動に生かせるヒントはないか、考えられるとよいでしょう。
動画を使ってつたえたいことは何かを自分なりに考えてみましょう。自分の考えたことをつたえることをつづけていきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
3年	8	選択式	3分	易・ 普通 ・難

りくさんたちは、2年生に向けて発表をするために、ふれあいまつりでの活動をふり返っています。

問題 8

ワークシートの中の(1)、(2)に当てはまるものとしてもっともよいものを、ア～エからそれぞれ1つずつえらびましょう。

そう合てきな学習の時間ワークシート

☆この学習のめあてをふり返りましょう

1 (1) はよくできましたか。

よくできた まあまあできた あまりできなかった できなかった

2 (2) はよくできましたか。

よくできた まあまあできた あまりできなかった できなかった

☆とくがんばったことを書きましょう。

話し合いて、みんなの意見をもらってよりよいものを作れたのがよかった。

3 この学習をおしてわかったことを2年生につたえましょう。

2年生のみんなへ。社会で学習したことが役に立ったよ。みんなでそうだんして、もっとよいものが作れて「やったあ。」と思ったよ。

<出題のねらい>

「学習のめあて」の振り返りの質問項目を考えることで、単元全体を通して、自分たちの考えためあてを意識して活動することができているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」… 思考の過程を振り返る

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

単元全体に関わる学習のめあてを、児童と教師が常に意識して学習を進めていくことが大切です。また、単元の終末では、学習した内容を振り返り、次の問題発見・解決につなげていくことで、深い学びが図られます。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)		解答例
1	◎	(1) でウを、(2) でアを選択している。	(1) ウ (2) ア
2		(1) でウを、(2) でア以外を選択している。	(1) ウ (2) ア以外
3		(1) でウ以外を、(2) でアを選択している。	(1) ウ以外 (2) ア
9		上記以外の解答	(1) ウ以外 (2) ア以外
0		無解答	—

個票への記述
「学習のめあて」を意識して学習をふり返る力が身についています。いろいろな教科でも「めあて」を意識して学習に取り組んでいきましょう。
サツマイモを「全部売るためのくふう」については、考えることができました。いつも「学習のめあて」が何だったか考えて学習することで、その時間で身につける力や学習をふり返る力が身につけてきます。「学習のめあて」を意識して学習をしていきましょう。
みんなで「きょう力すること」については、考えることができました。いつも「学習のめあて」が何だったか考えて学習することで、その時間で身につける力や学習をふり返る力が身につけてきます。「学習のめあて」を意識して学習をしていきましょう。
いつも「学習のめあて」を考えて学習することが大切です。そうすることで、その時間で身につける力や学習をふり返る力が身につけてきます。
いつも「学習のめあて」を考えて学習することが大切です。そうすることで、その時間で身につける力や学習をふり返る力が身につけてきます。